TIGER
タイガー魔法瓶

品番
ASV-A型

家庭用

ライティングアロマ加湿器

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



もくじ

はじめに

1 安全上のご注意 …… 2
2 各部のなまえ …… 6

使いかた

3 加湿のしかた …… 7
4 ライトのつけかた・切りかた… 9
5 使い終わったら …… 10
6 お手入れのしかた …… 12
7 消耗部品の取り替えについて … 13

困ったときは

8 故障かな？と思ったら … 14

その他

仕様…… 15
保証とサービスについて…… 15
連絡先…… 15

点検・修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日 年　月　日
ご購入店名 TEL　（　）

日本国内 100V 専用
交流 100V 以外の電源では使用できません。

ご意見をお寄せください。
http://www.tiger.jp/

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

⚠警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷[*1]を負うことが想定される内容を示します。

⚠注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。
*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。（注意）

⃠記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。（禁止）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。（指示）

⚠警告

改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。（分解禁止）
火災・感電・けがの原因。

交流100V以外では使わない。（禁止）
火災・感電の原因。

電源コードは、破損したまま使わない。また、電源コードを傷つけない。（禁止）
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。（必ず実施）
火災の原因。

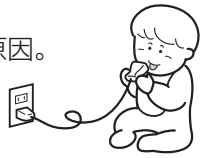
差込プラグは根元まで確実に差し込む。（必ず実施）
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。（禁止）
感電・ショート・発火の原因。

ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。（ぬれ手禁止）
感電・けがのおそれ。

⚠警告

器具用プラグをなめさせない。（禁止）
乳幼児が誤ってなめないように注意する。
感電やけがの原因。



器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。（禁止）
感電・ショート・発火の原因。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。（禁止）
転倒させると水がこぼれたり、けがをするおそれ。

運転停止直後は、本体内部に手をふれない。（接触禁止）
やけど・けがの原因。

不安定な場所や、毛あしの長いカーペットなどの上に置かない。（禁止）
転倒して水がこぼれたり、安全装置の誤作動の原因。

通気孔やすき間などに、ピン・針金など金属物（異物）を入れない。（禁止）
感電や異常動作してけがをするおそれ。

本体を丸洗いしたり、水につけたり、水をかけたりしない。（水ぬれ禁止）
ショート・感電・発火・故障のおそれ。

お手入れするときや、水をすてるときは、差込プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う。（プラグを抜く）
感電・やけど・けがのおそれ。

蒸気孔や本体にさわったり、顔などを近づけない。（接触禁止）
やけどの原因。

⚠注意

使用時以外は差込プラグをコンセントから抜く。（プラグを抜く）
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず差込プラグを持って引き抜く。（プラグを抜く）
感電やショートして発火するおそれ。

使用中や使用直後に本体の移動、持ち運びはしない。（禁止）
熱湯がこぼれ、やけどの原因。

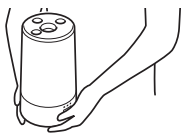
1 安全上のご注意

⚠注意

禁止

本体は両手で水平に、振動を与えないように持ち運ぶ。

水タンクや本体がはずれて落下し、けがのおそれ。また、傾けたり、転倒すると水がこぼれるおそれ。



禁止

使用中や使用直後はお手入れをしない。

高温部にふれ、やけどの原因。

禁止

熱に弱いテーブルや敷物などの上で使わない。

テーブル・敷物の変色・変形の原因。

禁止

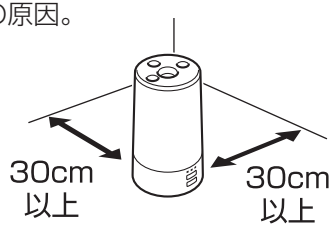
パソコンやテレビなどの電子機器や電気製品、ピアノや特殊な塗装の高級家具、壁紙や特殊な表面加工の壁面などの上や近くには設置しない。

蒸気が触れたり、転倒して水をこぼしたりすると、機器の故障やものの表面を傷める原因。

禁止

壁や家具・カーテン・天井などの近くで使わない。

シミがついたり、カビの発生・変形の原因。



禁止

加湿しすぎない。

長時間連続で加湿すると、結露などで室内をぬらしたり故障の原因。

必ず実施

テレビ・ラジオ・コードレス電話・エアコンなどから1m以上離して置く。

テレビ画面のチラツキや、雑音が入るなど電波障害の原因。

禁止

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗剤は使わない。

洗剤から有害ガスが発生し、健康を害したり、故障の原因。

必ず実施

市販のアロマオイルを使う場合は、必ず以下の事項を守る。

故障の原因。

アロマオイルは必ず天然抽出成分100%のエッセンシャルオイル（精油）を使い、合成香料などを使わない。

末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●蒸気孔や通気孔をフキンなどでふさがない。

本体内部の温度が上がって、本体が変形し、故障・事故の原因。

●水タンクに水道水以外の水を入れない。

・浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水などを入れると、カビや雑菌が発生しやすい原因。

・お湯（40℃以上）や化学薬品、芳香剤、洗剤を入れた水を入れると、本体が変形し、故障の原因。

●水タンクの水は毎日新しい水道水と交換する。また本体内部は週2回程度定期的にお手入れする。

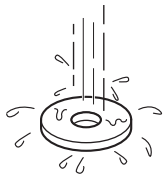
汚れや水あかで性能が低下したり、悪臭がするおそれ。本体内部で水アカが膜状になって付着し、蒸気孔から風とともに吹き出すおそれ。

●直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くで使わない。

水タンク内の空気が膨張し、本体から熱湯があふれるおそれ。また、プラスチック部分の変形・変質の原因。

●クリーニングフィルターはこまめにお手入れする。

蒸発皿の汚れが取れにくくなり、故障の原因。
また汚れや破損がひどくなったときは交換する。



●クリーニングフィルター・水路カバーをはずしたまま使わない。

蒸発皿に水あかなどがたまり、故障の原因。

●凍結しないように、使わないときは、水タンク・本体内部の水をすてる。

凍結したまま使うと故障の原因。

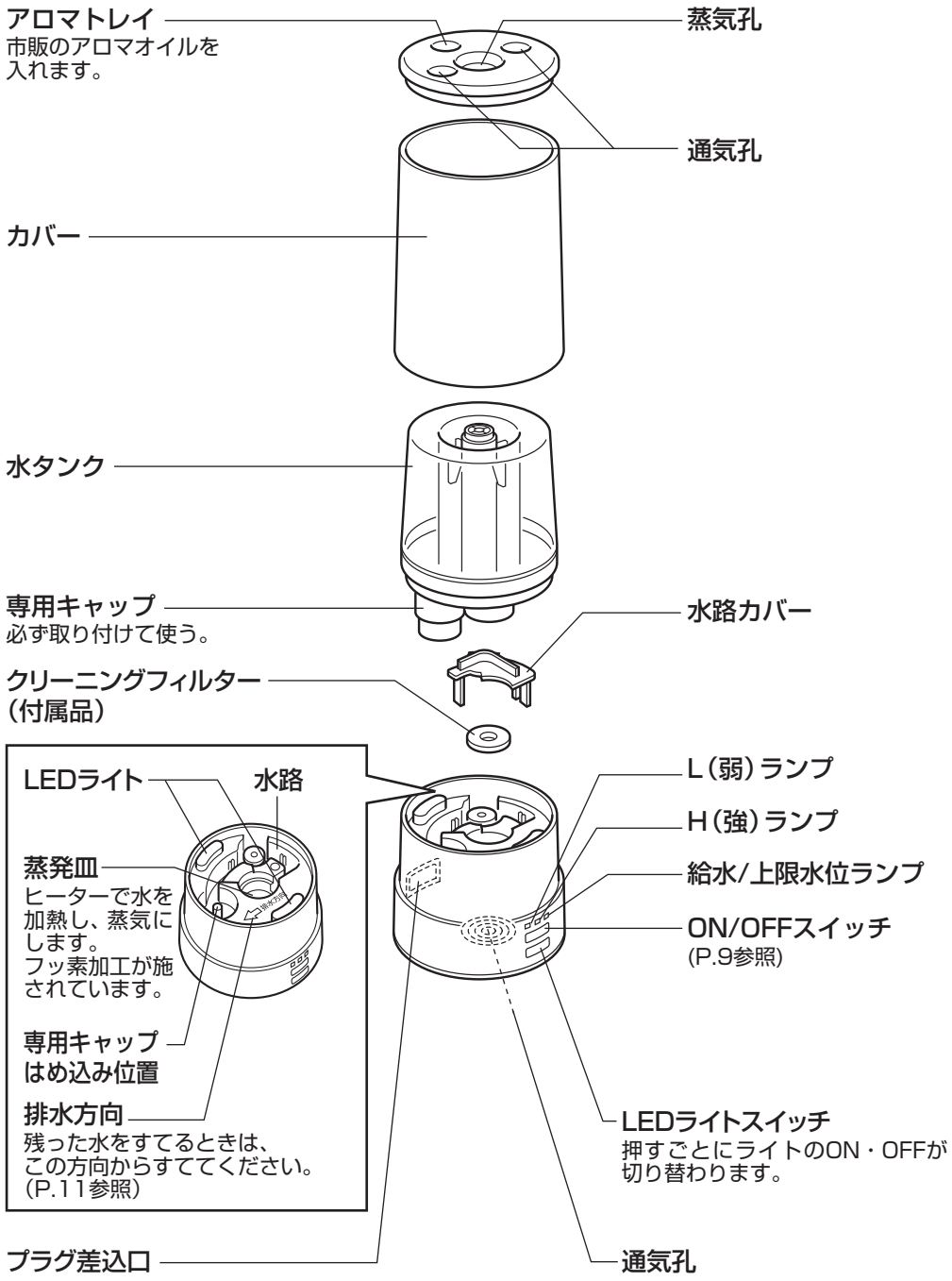
●本体をさかさにしない。

底部が水にぬれていると、底部から水が入り、故障の原因。

●アロマオイルを、アロマトレイ以外のプラスチック部分に直接かけない。

故障や変形の原因。

2 各部のなまえ



付属品

電源コード

差込プラグ(コンセントに差し込む)



器具用プラグ
(本体のプラグ差込口に差し込む)

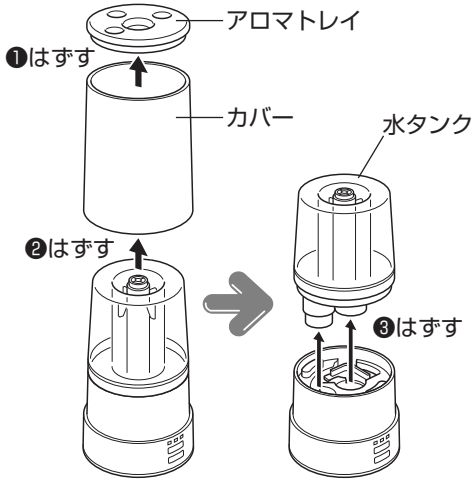
クリーニングフィルター(2枚)

蒸発皿に取りつける。
(1枚は予備品)



3 加湿のしかた

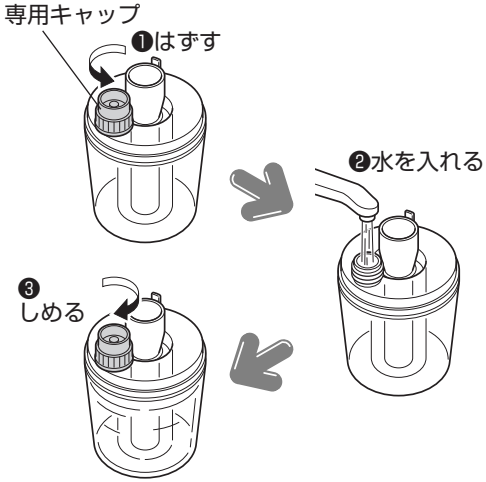
1 アロマトレイとカバー、水タンクをはずす。



2 水タンクに水道水を入れる。

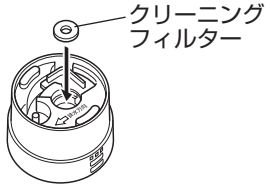
水は、水タンクの半分以上から満水までの間に入れます。

ご注意
- ●水は、必ず水道水を入れる。
- ●お湯を入れない。やけどや故障の原因。
- ●水を入れた後、専用キャップをしっかりとしめ、水もれがないことを確認する。

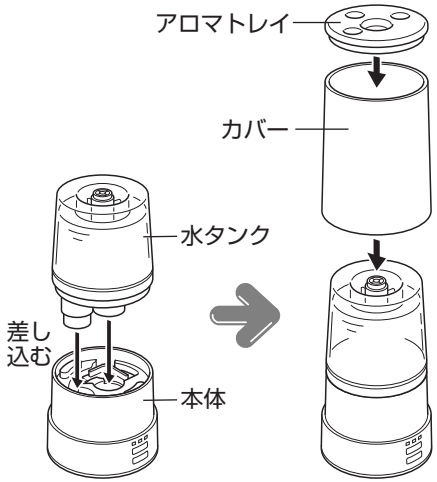


3 加湿のしかた

3 クリーニングフィルターを本体にセットする。



4 水タンクとアロマトレイ、カバーを本体にセットする。

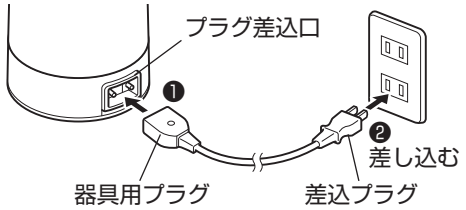


ご注意

- ●水タンク・水路カバー・クリーニングフィルターが正しく取りつけられているかを確認する。正しく取りつけられていないと、充分な加湿ができない、また、故障の原因。
- ●水路カバーが取りつけられていない状態で加湿しない。水タンクが変形するおそれ。



5 器具用プラグをプラグ差込口に、差込プラグをコンセントに差し込む。



6 市販のアロマオイルをアロマトレイに入れる。

※本製品にアロマオイルは付属していません。市販の天然抽出成分100%のエッセンシャルオイル（精油）を別途お買い求めください。

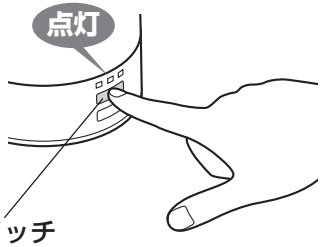


ご注意

- ●オイルを入れなくても本体は使用できます。
- ●オイルの種類によってにおいの度合いが違うので、オイル購入時にアドバイスを受けてください。
- ●オイルの使用上の注意を守ってください。
- ●オイルをこぼしてしまった場合、すぐにふきとる。プラスチック製のものにこぼしたままにしておくと、変色や変質の原因。
- ●アロマテラピー（芳香療法）は医術や医学ではありませんので、体質にあわない場合は使用をやめてください。

7 ON/OFFスイッチを押す。

H（強）ランプが点灯し、約2分後に蒸気が出はじめます。



ON/OFFスイッチ
押すごとに電源のON・OFFと加湿の強さが切り替わります。

H（強）→ L（弱）→ OFF

※はじめてお使いになるときに、煙が出たり、においがすることがありますが、故障ではありません。また、樹脂などのにおいがすることもありますが、ご使用とともに少なくなります。
※部屋の温度・湿度によっては、蒸気が見えにくい場合があります。

ワンポイント 水タンクに水が入った状態でON/OFFスイッチを「OFF」にした後、再度加湿する場合は、ON/OFFスイッチを押すと加湿が開始されます。

水タンクの水がなくなったら…

水タンクの水がなくなると、給水/上限水位ランプが点灯し、運転が自動的に止まります。

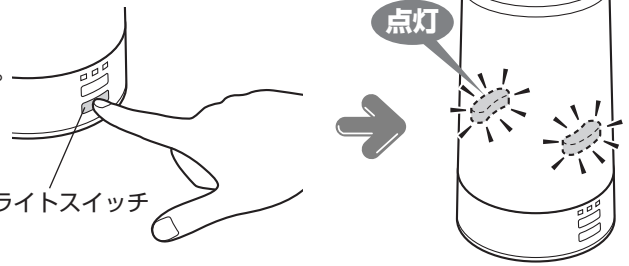


ご注意 続けて使用する場合は、いったん運転を切り、本体が冷めてから蒸発皿・本体内側に残った水をすてる。（P.11参照）その後、水タンクに水道水を補給して使う。（P.7参照）

4 ライトのつけかた・切りかた

LEDライトスイッチを押して、ライトを点灯する。

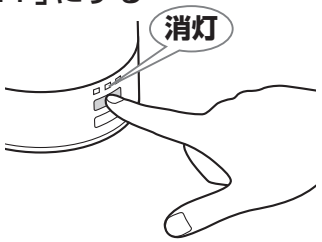
押すごとにライトのON・OFFが切り替わります。



5 使い終わったら

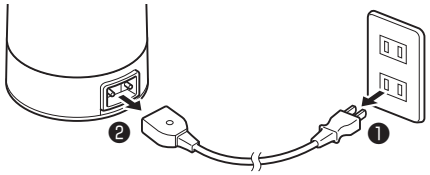
ご注意 水タンクの水は、毎日新しい水道水と交換する。また、蒸発皿・本体内側に残った水は、毎日すてる。変色やにおいの原因。

1 ON/OFFスイッチを「OFF」にする

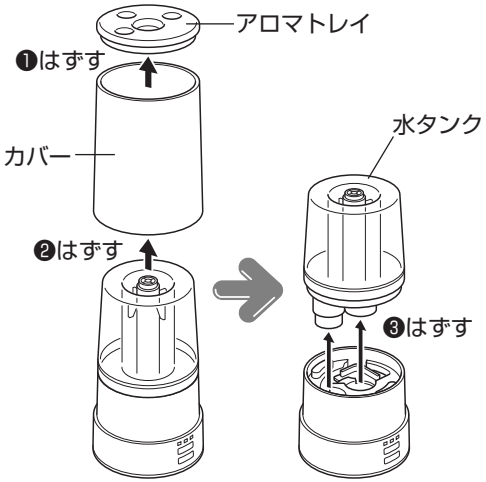


ご注意 器具用プラグや差込プラグを抜いて、運転を停止しない。

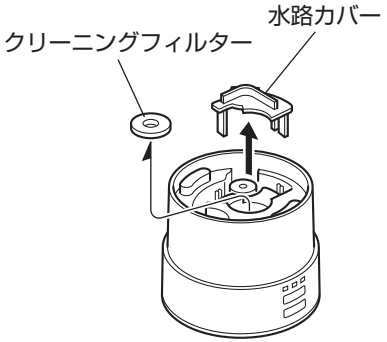
2 差込プラグと器具用プラグを抜く。



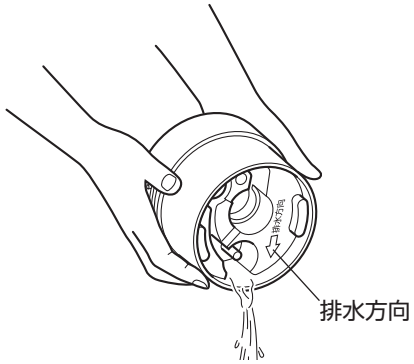
3 本体が冷めた後、アロマトレイとカバー、水タンクをはずす。



4 クリーニングフィルターと水路カバーをはずす。



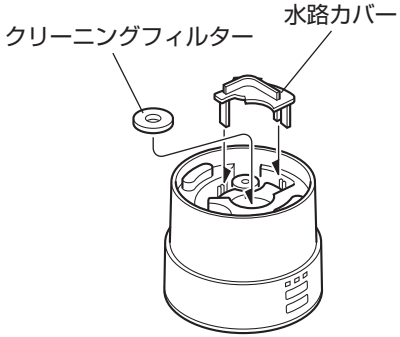
5 蒸発皿・本体内側に残った水をすてる。



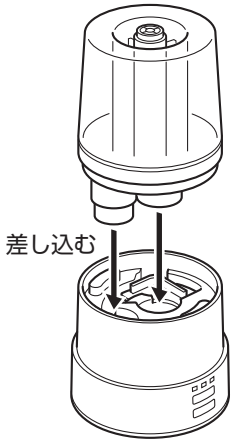
ご注意 水をすてるときは、必ず本体の「排水方向」の⇧方向からすてる。違った方向から水をすてると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因。

6 クリーニングフィルターと水路カバーをつける。

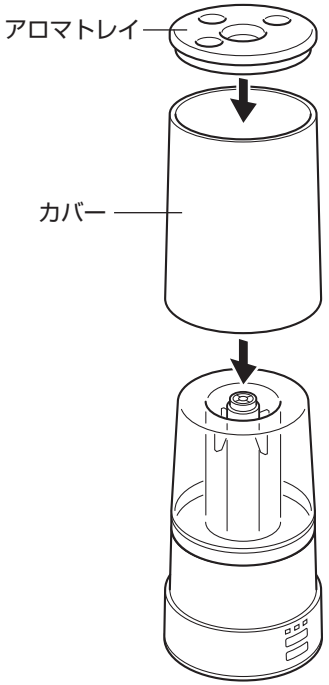
水路カバーのツメを、本体のミゾにはめ込みます。



7 水タンクをつける。



8 アロマトレイとカバーをつける。

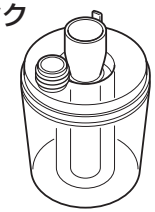
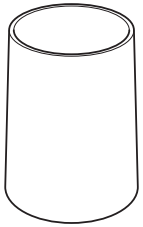
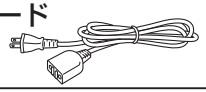


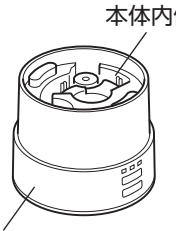
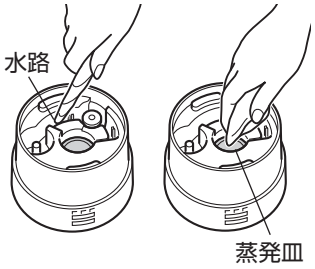
6 お手入れのしかた

⚠注意 ON/OFFスイッチを「OFF」にして、差込プラグと器具用プラグを抜く。本体が冷めて、本体内側の水をすててからお手入れする。

常に清潔に保ち、性能低下・悪臭を防止するためにこまめにお手入れすることをおすすめします。

水タンクの水は、毎日新しい水道水と交換してください。本体内側に残った水は毎日すててください。また、本体内側は、週2回程度定期的にお手入れしてください。

各　部	お手入れのしかた
水タンク 	週1 ～ 2回程度、水タンクに水を入れ、充分にすすぎ洗いをする。 **ご注意** 水タンクは、必ず水で洗う。お湯で洗うと、変形するおそれ。
専用キャップ  水路カバー 	月2回程度、水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。 **ご注意** 専用キャップのパッキンがはずれたときは、パッキンを確実に取りつける。 パッキン 
カバー 	カバーは、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。
アロマトレイ 	汚れるたびに水でスポンジを使って洗い、乾いた布でふく。残ったアロマオイルをふき取る。
クリーニングフィルター 	週2回程度、水道水で手もみ洗いする。
電源コード 	乾いた布でふく。

各　部	お手入れのしかた
本体 	●本体外側・内側は、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。 ●水路は、割りばしなどに布をまきつけて汚れをふき取る。 ●蒸発皿は、週2回程度、よくしぼったフキンで汚れをふき取る。  **ご注意** ●本体の丸洗いはしない。本体内部に水が入り、故障の原因。 ●蒸発皿はこまめにお手入れする。フッ素加工されていますが、長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなるおそれ。

ご注意
- ●本体は、水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電のおそれ。
- ●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わない。
- ●食器洗い乾燥機・食器乾燥器に入れて乾燥させない。変形の原因。
- ●お手入れ後は、各部品を必ずもとの位置に取りつける。正しく取りつけられていないと故障の原因。

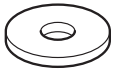
長期間使わないとき

- ●お手入れ後、各部についた水を乾いた布でふき、日陰で自然乾燥させる。（特に本体内側・クリーニングフィルターは充分に）
- ●クリーニングフィルターは、本体から取りはずす。
- ●保管するときは、ポリ袋などで密封し、湿気の少ないところで保管する。

ご注意
- ●湿ったまま保管しない。カビの発生する原因。
- ●数日間使わないときは、水タンク・蒸発皿・本体内側に残った水をすてる。

7 消耗部品の取り替えについて

クリーニングフィルターは消耗部品です。
ご使用にともない傷んできます。
汚れや破損がひどくなったときは交換する。
廃棄するときは、不燃物ごみとしてすてる。



クリーニングフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15）で、部品番号ASV1030とご指定の上、お問い合わせください。

樹脂成形品について

熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

8 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告 修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
ON/OFFスイッチを押しても運転しない	電源コードがはずれていませんか。	プラグを接続する。	2・8
	水タンクがカラになって、自動的に運転が停止していませんか。	水タンクに給水し、本体にセットしてください。	7・8
蒸気が出ない	水タンクがカラになって、自動的に運転が停止していませんか。	水タンクに給水し、本体にセットしてください。	7・8
水が入っているのに給水/上限水位ランプが点灯する	本体を移動させるときに衝撃、振動を与えていませんか。	本体内側の水を捨て、水タンクをセットし直す。	4・7～11
	水路カバーがセットされていますか。	本体内側の水を捨て、水路カバーをセットする。	5・8 10・11
	不安定な場所や本体を傾けて置いていませんか。	本体内側の水を捨て、水平な場所に本体を置く	3・7～11
湿度が上がらない、または水が減らない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	14
	換気をしていませんか。	窓・戸を閉めてお使いください。	−
においが出る	本体内側が汚れていませんか。	本体内側のお手入れをしてください。	12・13
	水タンク・本体内側の水を放置したままになっていませんか。	水タンクの水は毎日新しい水道水と交換してください。また、本体内側に残った水は毎日すててください。	10～13
水もれする	専用キャップを、しっかりしめていますか。	専用キャップを、しっかりしめて水タンクを本体に取りつけてください。	7・8
	片手で持ち運びしていませんか。	本体は両手を使って水平に持ち運んでください。	4
	暖房器具の近くで使っていませんか。	本体内側の水をすて、暖房器具から離れた位置に本体を置く。	5
蒸発皿・本体内側に異物がたまる	クリーニングフィルターを蒸発皿にセットしていますか。	必ずクリーニングフィルターを蒸発皿にセットして使う。	6・8・12
	蒸発皿・本体内側を定期的にお手入れしていますか。	こまめにお手入れしてください。	12・13
	水道水以外の水を水タンクに入れて運転していませんか。	必ず水道水を使ってください。	7
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。使用上の品質に支障はありません。		−

仕様

電源	100V 50-60Hz
消費電力	強：100W、弱：60W
加湿量（約）	強：120mL/h、弱：60mL/h
水タンク容量（約）	630mL
連続加湿時間〈最長〉（約）	10時間（水量：満水、水温・室温：20℃、電圧：交流100V、L（弱）運転時の場合）
適用床面積（目安）（使用状況、環境により異なります）	木造和室［H（強）：3.3㎡、L（弱）：1.6㎡］ プレハブ洋室［H（強）：5.5㎡、L（弱）：2.7㎡］
外形寸法（約）幅×奥行×高さ	13×13.2×21.7cm
質量（約）（電源コードを含む）	1.0kg

保証とサービスについて

※修理を依頼される前にまず「故障かな?と思ったら」（P14）をご覧になり、お調べください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。（消耗部品は除きます。）

保証書の記載内容に基づき、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3 修理を依頼されるとき

保証期間内 …… おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき …… まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名　②品番　③製品の状況（できるだけくわしく）

4 ライティングアロマ加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 …… 不具合の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業（修理および部品交換・調整・修理後の点検など）の料金です。

部品代 …… 製品の修復に使った部品の代金です。

6 その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（下記）までご相談ください。

連絡先

タイガー魔法瓶株式会社　本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号） 市内通話料でOK **0570-011101** 市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます）
※携帯電話・PHSとIP電話等（ナビダイヤルを利用できない電話）の方はこちらへ TEL（06）6906-2121

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス　http://www.tiger.jp/